



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 北雄ラッキー株式会社

コード番号 2747 URL <http://www.hokuyu-lucky.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 桐生 宇優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 山川 浩文

TEL 011-558-7000

四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	10,806	1.8	41	361.4	44	415.6	1	—
28年2月期第1四半期	10,617	1.9	9	—	8	—	△37	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	0.19	—
28年2月期第1四半期	△6.00	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	19,743		4,471		22.6		707.40	
28年2月期	19,909		4,527		22.7		716.19	

(参考)自己資本 29年2月期第1四半期 4,471百万円 28年2月期 4,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年2月期	—				
29年2月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	△0.7	138	13.6	131	9.6	49	45.6	7.75
通期	42,800	△1.7	390	19.9	400	23.6	172	14.4	27.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期1Q	6,323,201 株	28年2月期	6,323,201 株
29年2月期1Q	1,976 株	28年2月期	1,976 株
29年2月期1Q	6,321,225 株	28年2月期1Q	6,322,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成28年3月1日～平成28年5月31日)におけるわが国経済は、政府及び日銀の各種政策による企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとするアジア新興国及び資源国等の経済減速や消費者マインドの足踏みによる個人消費の停滞などもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

スーパーマーケット業界におきましては、流通業界の再編・淘汰の加速、異業種間競争の激化、成熟し縮小する市場変化への対応、人材確保の問題及び個人消費回復の遅滞などの課題が山積し、企業の生き残りをかけた厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社におきましては、一貫して「おいしいものを食べたい、豊かな食生活を楽しみたい」というお客様の期待にお応えするべく、「豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケット」の構築に努めてまいりました。そして、当社のようなローカルスーパーマーケットがお客様の支持を得るための最重要事項は、「商品」であるとの方針のもと、北海道No.1の商品力の確立を目指しております。

当第1四半期累計期間におきましては、GW期間を含めて全般的に気温の上昇しない雨の多い天候が続き、5月後半の運動会期間の好天以外は天候不順の影響のため、焼肉関連や行楽用品の需要が低調でありましたが、ひな祭り需要や運動会需要が好調であったこと、4月に「シティマート女満別店」が新規開店したこと、3月と5月にそれぞれ閉店した「ラッキー西野1号店」・「ラッキー美しヶ丘店」の閉店セールが好調であったことに加え、平成26年の建替え改装以降、好調を維持している「ラッキー山の手店」の成功事例(商品の品揃え等)を他店舗に順次水平展開している効果が徐々に現れてきたこともあり、売上高は前年同四半期と比較し増加となりました。部門別としては、好調の生鮮部門が牽引役となり、グロスリー部門及び節約志向の影響を強く受け苦戦の続いた衣料部門を含めて、主要3部門が前年実績を上回りました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高108億6百万円(前年同期比101.8%)、経常利益44百万円(前年同期比515.6%)、四半期純利益1百万円(前年同期は四半期純損失37百万円)となりました。

当第1四半期累計期間における店舗の状況は、平成28年4月15日に網走郡大空町に「シティマート女満別店」(食料品店)を新規開店し、同年3月18日付で「ラッキー西野1号店」及び同年5月17日付で「ラッキー美しヶ丘店」を閉店しております。

平成28年5月31日現在の店舗数は、35店舗であります。

なお、平成28年6月15日付で「ラッキー衣料館長都店」を経営資源の最適化を図るため閉店しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較し1億65百万円減少し197億43百万円となりました。

その主な要因は、商品及び製品が63百万円増加したものの、現金及び預金の減少が74百万円、未収入金の減少が1億8百万円、店舗閉店によって建物の減少が42百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較し1億9百万円減少し152億72百万円となりました。

その主な要因は、買掛金が2億42百万円増加、長期借入金が流動負債及び固定負債で合わせて9億20百万円増加、賞与引当金が89百万円増加したものの、短期借入金の減少が12億50百万円、未払法人税等の減少が94百万円であったことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較し55百万円減少し44億71百万円となりました。

その要因は、四半期純利益の計上1百万円及びその他有価証券評価差額金の増加6百万円により純資産が7百万円増加したものの、株主配当によって63百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期業績につきましては、記載のとおり結果でありましたが、今後とも販売促進の強化、人的効率のアップ、徹底したコストの削減を継続し、売上と利益の確保に努めてまいります。

なお、当社の業績予想につきましては、現時点において平成28年4月7日決算短信にて公表いたしました数値から変更はありません。今後、変更がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,764,800	1,690,599
売掛金	371,203	411,984
商品及び製品	1,869,933	1,933,044
原材料及び貯蔵品	78,510	88,628
前払費用	117,870	118,543
繰延税金資産	55,104	75,467
未収入金	433,811	325,797
その他	41,966	35,077
貸倒引当金	△734	△734
流動資産合計	4,732,466	4,678,409
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,653,449	9,551,675
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,799,064	△5,740,060
建物(純額)	3,854,384	3,811,614
構築物	652,308	646,561
減価償却累計額及び減損損失累計額	△472,349	△470,600
構築物(純額)	179,958	175,961
機械及び装置	610	610
減価償却累計額	△297	△313
機械及び装置(純額)	312	296
車両運搬具	3,091	3,091
減価償却累計額	△2,800	△2,836
車両運搬具(純額)	291	254
工具、器具及び備品	478,356	457,486
減価償却累計額及び減損損失累計額	△365,227	△348,331
工具、器具及び備品(純額)	113,128	109,154
土地	7,258,410	7,258,410
リース資産	1,655,808	1,649,338
減価償却累計額及び減損損失累計額	△862,079	△869,922
リース資産(純額)	793,728	779,416
建設仮勘定	—	1,944
有形固定資産合計	12,200,214	12,137,053
無形固定資産		
ソフトウェア	21,429	21,761
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	39,658	39,990
投資その他の資産		
投資有価証券	204,147	210,523
出資金	589	589
長期前払費用	98,969	97,123
繰延税金資産	410,648	371,271
差入保証金	2,135,676	2,118,629
保険積立金	72,854	73,976
投資その他の資産合計	2,922,886	2,872,114
固定資産合計	15,162,759	15,049,157

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
繰延資産		
社債発行費	13,784	16,147
繰延資産合計	13,784	16,147
資産合計	19,909,011	19,743,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,958,801	3,201,565
1年内償還予定の社債	560,000	260,000
短期借入金	4,200,000	2,950,000
1年内返済予定の長期借入金	1,387,316	1,591,290
リース債務	300,924	299,391
未払金	336,944	355,048
未払費用	286,193	324,831
未払法人税等	112,174	18,126
未払消費税等	152,996	120,280
前受金	19,244	32,763
預り金	42,098	80,495
賞与引当金	88,558	177,798
流動負債合計	10,445,251	9,411,591
固定負債		
社債	660,000	930,000
長期借入金	2,155,044	2,871,082
リース債務	561,687	545,260
退職給付引当金	915,965	884,492
役員退職慰労引当金	258,575	260,748
長期預り保証金	333,767	318,205
資産除去債務	47,314	47,491
その他	4,215	3,234
固定負債合計	4,936,569	5,860,515
負債合計	15,381,820	15,272,107

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	1,045,195	983,193
利益剰余金合計	3,510,195	3,448,193
自己株式	△1,062	△1,062
株主資本合計	4,502,156	4,440,153
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,034	31,453
評価・換算差額等合計	25,034	31,453
純資産合計	4,527,190	4,471,607
負債純資産合計	19,909,011	19,743,714

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	10,617,698	10,806,603
売上原価	8,008,368	8,138,218
売上総利益	2,609,330	2,668,384
営業収入		
不動産賃貸収入	69,118	70,482
運送収入	188,967	225,520
営業収入合計	258,086	296,003
営業総利益	2,867,416	2,964,388
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	125,328	126,264
配送費	166,388	198,743
販売手数料	192,608	196,287
給料及び手当	490,666	485,218
賞与引当金繰入額	82,990	89,240
退職給付費用	30,996	29,705
役員退職慰労引当金繰入額	2,535	2,173
雑給	627,052	642,241
水道光熱費	205,922	202,628
減価償却費	150,404	156,915
地代家賃	246,659	244,271
その他	536,786	548,810
販売費及び一般管理費合計	2,858,338	2,922,500
営業利益	9,077	41,887
営業外収益		
受取利息	4,096	3,888
受取配当金	3,669	3,937
債務勘定整理益	174	636
受取事務手数料	4,203	4,996
雑収入	15,152	10,149
営業外収益合計	27,296	23,608
営業外費用		
支払利息	24,744	19,345
社債発行費償却	1,749	1,261
雑損失	1,264	460
営業外費用合計	27,757	21,067
経常利益	8,617	44,429
特別利益		
賃貸借契約違約金収入	106	—
特別利益合計	106	—
特別損失		
固定資産除売却損	166	15,359
特別損失合計	166	15,359
税引前四半期純利益	8,557	29,070
法人税、住民税及び事業税	26,890	8,802
法人税等調整額	19,593	19,057
法人税等合計	46,483	27,860
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,925	1,209

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。